

# 「真実の涙をもう一度」有志会 第一回通常総会議事録

○開催日時：平成 24 年 7 月 21 日（土曜日）18：00～21：00

○開催場所：南砺市城端伝統芸能会館じょうはな座 2階 練習室 4・5

○参加者：合計 13 名

- ・有志会メンバー 4 名（代表 佐古田、他 3 名）  
※上記以外の委任状参加の有志会メンバー：8 名（すべて代表に一任）
- ・サポーター：2 名（富山県内・京都府在住各 1 名）
- ・一般傍聴者：7 名（富山県内 2 名、東京都 2 名、埼玉・神奈川・千葉県各 1 名）

## ● 1. 議長選出

先ず、有志会メンバーから議長を選出することを代表佐古田が提案した。

出席者全員の同意を得て、議長の選出を行った。以降の議事は議長が行った。なお、議長は投票権を持たない。

## ● 2. 祝電紹介

- ・続いて祝電の紹介（お二方）。

富山在住、神奈川在住&大阪在住の方より二通。

## ● 3. 議題報告

○議題：

1. 2011 年度 活動報告
2. 2011 年度 会計報告
3. 2012 年度 活動計画発表

- ・定刻通りに開会された。
- ・上述の各議題について、代表より 1 時間半、ほど出席者に対して説明を行った。
- ・各議題については、投票権のある有志会メンバー全員一致で承認された。  
※議題の詳細は別添の資料をご参照ください。

#### ● 4. 参加者との質疑応答

■【質問1】城端は「〇〇のまち」という売りがなく、行き着く先が読めない。サブカルでまちおこしを標榜している他の地域のように、もう少しサブカル色があっても良いのではないか？（神奈川県在住者）

【回答】有志会は「ファンを代表する組織」ではないので、まちの目指す方向について発言できる立場にはない。あくまで（代表の）個人的な感想だが、城端の人達の思いとしては、アニメでのまちおこし、ということはあまり考えてないのではないかと思う。元々多くの地域資源をかかえ、観光地として成立しているので、改めてサブカルでまちおこしを狙ったりする必要はないと思う。また誰かが声高に叫んで、押しついで「アニメのまち」などと言うのはおかしいと思う。現状、地元のみなさんはファンに好意的で、リピーターも多いと感じている。

■【質問2】何度も城端を訪れるリピーターのために、常設の交流場所があれば良いのではないか？

【回答】空き家の活用などしたいという思いはあるが、現状予算のめどもなく、適切な場所もない中で、開設は難しい。イベントの開催場所も毎回転々としているので、何とかしたいという思いはある。

■【質問3】「南砺のあるきかた～城端特集」の印刷費に対して、販売収入が少ないのではないか？（富山県在住）

【回答】なるべく単価を下げるため、また城端での長期的な委託販売・城端むぎや祭での販売も視野に入れ、1000部を一度に印刷した。どうしても初期費用はふくらむが、城端曳山祭での販売数やその後の委託販売などの売れ行きから見て、じゅうぶん回収は可能。南砺市に頂いた補助金から一部補てんしているが、イベントや取組を通じて南砺市の皆さんや、ファンの皆さんに還元するため、引き続きがんばって販売していきたい。

■【質問4】「南砺のあるきかた」の続刊予定はあるのか？例えば他の地域（五箇山、福光、福野）など（富山県在住）

【回答】まずは城端特集の完売に全力をあげたい。そのうえで、来年度の活動で続刊を発売することは検討したい。ただ他の地域の企画を、城端と同じような手法でやることは難しいと思うので、必ずしも他の地域の特集になるとは限らない。

■【質問5】今年の曳山祭での有志会の展示内容はとてもよく、心に残るものでありましたが、あの時の今川焼きの再度の販売はできないのか？（千葉県在住）

【回答】今川焼きを作るのは人手も掛かり、食品を売るというリスク（食中毒）も怖い。現在の有志会のメンバーの数で、今川焼きを販売するのは難しい。

■【質問6】飲食販売に関連して自遊の森などで、バーベキュー大会を開催してはどうか？  
(千葉県在住)

【回答】北陸の他の地域のイベントなどに連動して開催するなど検討したい。

■【質問7】「城端秋日和2011」のバス運行についての総括は？(東京都在住)

【回答】収支計算を見てもらってわかるとおり、乗客は少なかった。企画としては、残念ながら失敗だったという評価。要因としては、金沢⇒湯涌温泉⇒城端の一方通行のコース設定に無理があった(高岡や富山も含めた循環ルートにしてほしい、という要望が多かった)、ホームページ・ポスターなどで告知が遅れ、開催1ヶ月前を切った告知であったなど。また、そもそも金沢から城端に行こう、という需要が少なかったのかな、とも思う。

■【質問8】「南砺のあるきかた」のwebでの展開は今後あり得るのか？(千葉県在住)

【回答】「城端を訪れ手にとってほしい」という思いからの城端地域での限定販売なので、そのままのかたち(PDFをアップするなど)でのweb展開は今のところ考えていない。地域外販売はほとんど行っておらず、今後も行うつもりはない。なんらかの形でwebと連動させ、企画を展開したい思いはあるが、現状手がついていない。

■【質問9】情報誌に出てくる有志会のオリジナルキャラは、何らかのかたちで地域振興に活用できないのか？せっかく生み出したのにもったいない(千葉県在住、富山県在住それぞれ)。

【回答】イラストレーターさんには、情報誌に使用する前提でお願いした経過があり、今のところ他の用途への利用は考えていないが、リクエストが多いようなら前向きに検討したい。

■【質問10】オリジナルキャラクターを使って商品展開はしないのか？(千葉県在住)

【回答】情報誌を完売するまでは今のところ控えようと思っている。キャラクターの設定は細かいところまで決まっているので、商品展開自体は可能。活動を今後も継続していくための方策として、活用することはありうる。

■【質問11】活動をひろげるために、協賛などを募ってはどうか？(富山県在住)

【回答】協賛して頂く、ということは、その人たちの意見が会の活動に反映される可能性もある、と考えている。むしろ「お金を出しているのだから口も出すよ」というのもっともな話そうになってしまうと、有志会の活動の趣旨からは外れてしまう。協賛や会費を集める、ということは現状考えていない。

■【質問12】地元南砺市での認知度がまだまだ低い。例えば市の広報に載せてもらうなど、広報について何か方策は考えているのか？（富山県在住）

【回答】メンバーが少なく、情報発信までじゅうぶん手が回っていない。有志会の情報発信手段は、現状ホームページとツイッターだけなので、その更新を充実させることにまず着手したい。

■【質問13】城端リピーターの人に連れられて訪れた城端で、有志会の展示を目にして、富山県を盛り上げようという気概を感じた。今は学生で、県外での就職を考えていたが、富山県を盛り上げたいと思うようになり、県内での就職を決めた（富山県在住）。

【回答】非常にうれしい。城端を好きになったきっかけなど、今後も発信して行ってほしい。

■【質問14】有志会の活動印象として、サブカルありきでなく奥ゆかしくて、初めて接する人は戸惑うこともあると思う。そこが有志会らしくブレなくいい所でもあると思うのだが。今後も近隣のまちのサブカルイベントなどと日程をあわせ、イベントを開催してほしい（埼玉県在住）。

【回答】引き続き努力したい。

## ●5. 議長解任

議長解任の宣言を行い、参加者より承認を受けた。

これをもって、「真実の涙をもう一度」有志会 第1回通常総会を閉会した。

以上